

定住自立圏構想の進捗状況について

定住自立圏構想の推進

1 基本的考え方～都市は都市らしく、農山漁村は農山漁村らしく～

都市は都市らしく、農山漁村は農山漁村らしい地域振興を進めるため、圏域ごとに生活機能等を確保し、地方圏における定住の受け皿を形成する定住自立圏構想を推進する。

(「新成長戦略(基本方針)～輝きのある日本へ～」(平成21年12月30日閣議決定)より抜粋)

2 定住自立圏形成に向けた手続き～国への申請や国の承認が必要ない分権的な仕組み～



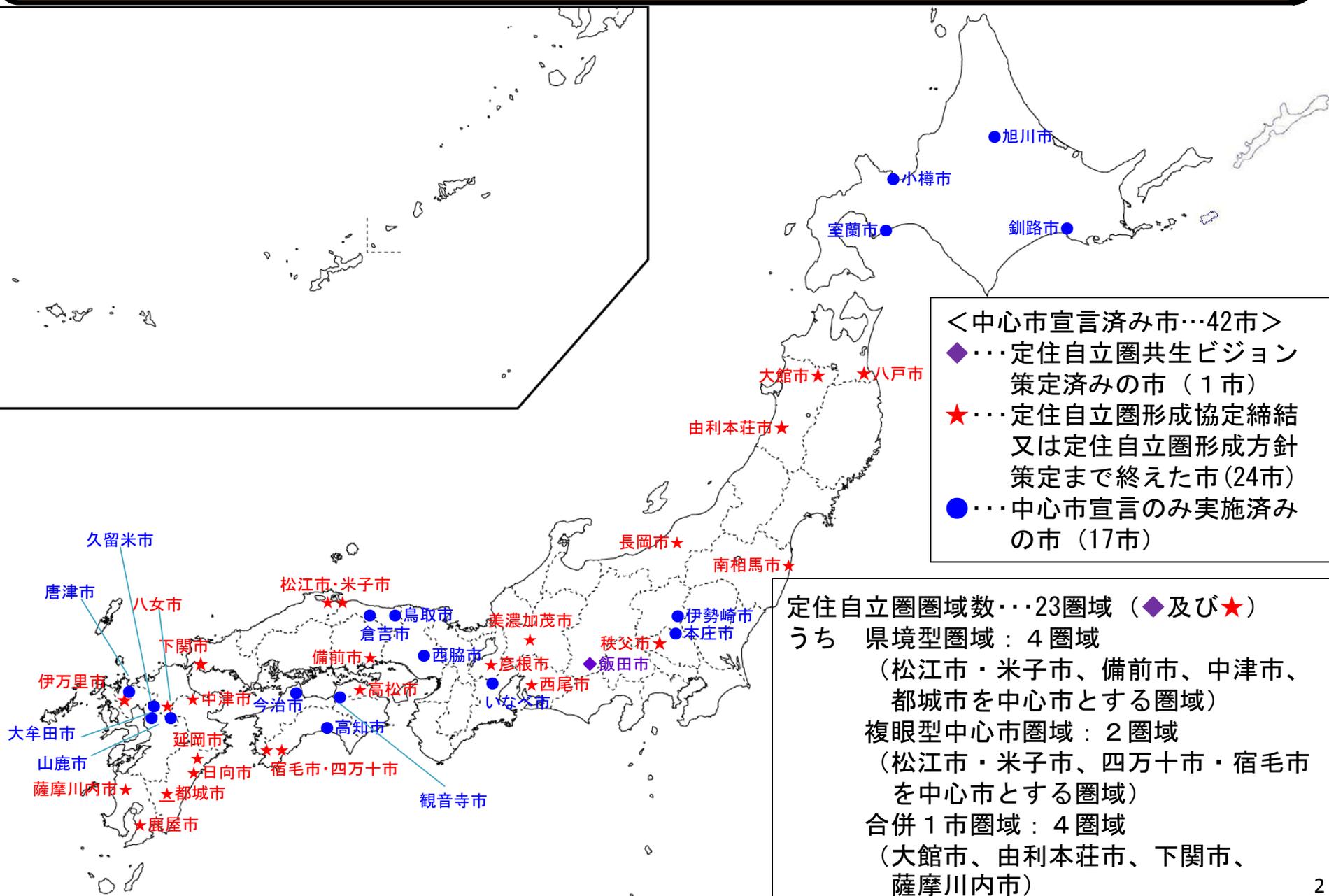
※広域的な合併を経た市が、当該市のみで定住自立圏を形成する場合は、定住自立圏形成方針を策定

③定住自立圏共生ビジョン

- ①周辺市町村の意向も踏まえて、地域全体のマネジメント等において中心的な役割を果たす意思を宣言。
- ②中心市と周辺市町村が1対1で、「生活機能」、「結びつきやネットワーク」、「圏域マネジメント能力」の観点から連携する取組について、議会の議決を経て協定を締結。
(例)医療、福祉、地域公共交通、ICTインフラ整備、人材育成 等
- ③圏域の将来像や推進する具体的取組を記載した定住自立圏共生ビジョンを策定。

※2月11日時点、42市で中心市宣言済み、23圏域で協定締結(方針策定)済み、1市でビジョン策定済み

定住自立圏に取り組んでいる中心市（H22.2.11）



定住自立圏圏域数…23圏域（◆及び★）
 うち 県境型圏域：4圏域
 （松江市・米子市、備前市、中津市、都城市を中心市とする圏域）
 複眼型中心市圏域：2圏域
 （松江市・米子市、四万十市・宿毛市を中心市とする圏域）
 合併1市圏域：4圏域
 （大館市、由利本荘市、下関市、薩摩川内市）

中心市宣言の状況

H22.2.11時点

○中心市は、圏域として必要な生活機能の確保に関して中心的な役割を担う意思を有すること等を明らかにするため、中心市宣言を実施（計42市）

| 県名 | 中心市名 | 宣言日 |
|------|-------|--------------|
| 山口県 | 下関市 | 平成21年 2月 16日 |
| 新潟県 | 長岡市 | 平成21年 3月 2日 |
| 香川県 | 高松市 | 平成21年 3月 4日 |
| 鳥取県 | 倉吉市 | 平成21年 3月 9日 |
| 宮崎県 | 延岡市 | 平成21年 3月 17日 |
| 岡山県 | 備前市 | 平成21年 3月 18日 |
| 青森県 | 八戸市 | 平成21年 3月 19日 |
| 埼玉県 | 秩父市 | 平成21年 3月 19日 |
| 秋田県 | 由利本荘市 | 平成21年 3月 19日 |
| 長野県 | 飯田市 | 平成21年 3月 24日 |
| 岐阜県 | 美濃加茂市 | 平成21年 3月 24日 |
| 福島県 | 南相馬市 | 平成21年 3月 25日 |
| 宮崎県 | 日向市 | 平成21年 3月 27日 |
| 鹿児島県 | 鹿屋市 | 平成21年 3月 27日 |
| 福岡県 | 久留米市 | 平成21年 3月 30日 |
| 鹿児島県 | 薩摩川内市 | 平成21年 3月 30日 |
| 滋賀県 | 彦根市 | 平成21年 4月 15日 |
| 宮崎県 | 都城市 | 平成21年 4月 22日 |
| 福岡県 | 八女市 | 平成21年 4月 24日 |
| 高知県 | 四万十市 | 平成21年 4月 27日 |
| | 宿毛市 | |

| 県名 | 中心市名 | 宣言日 |
|-----|------|---------------|
| 鳥取県 | 米子市 | 平成21年 4月 30日 |
| 島根県 | 松江市 | |
| 大分県 | 中津市 | 平成21年 4月 30日 |
| 鳥取県 | 鳥取市 | 平成21年 6月 5日 |
| 佐賀県 | 伊万里市 | 平成21年 8月 19日 |
| 愛知県 | 西尾市 | 平成21年 8月 24日 |
| 福岡県 | 大牟田市 | 平成21年 8月 28日 |
| 三重県 | いなべ市 | 平成21年 9月 1日 |
| 熊本県 | 山鹿市 | 平成21年 9月 1日 |
| 秋田県 | 大館市 | 平成21年 9月 1日 |
| 佐賀県 | 唐津市 | 平成21年 9月 8日 |
| 北海道 | 小樽市 | 平成21年 9月 15日 |
| 埼玉県 | 本庄市 | 平成21年 9月 18日 |
| 高知県 | 高知市 | 平成21年 9月 30日 |
| 香川県 | 観音寺市 | 平成21年 10月 21日 |
| 愛媛県 | 今治市 | 平成21年 12月 7日 |
| 北海道 | 釧路市 | 平成21年 12月 11日 |
| 北海道 | 室蘭市 | 平成21年 12月 15日 |
| 群馬県 | 伊勢崎市 | 平成21年 12月 16日 |
| 北海道 | 旭川市 | 平成21年 12月 28日 |
| 兵庫県 | 西脇市 | 平成22年 1月 29日 |

定住自立圏の形成状況（1）

H22.2.11時点

- 定住自立圏の形成状況 **23圏域（延べ107団体）** ※周辺市町村の重複含む
 - 長野県飯田市等**中心市21団体**が**周辺市町村82団体**と**定住自立圏形成協定**を締結済み
 - 秋田県由利本荘市等**4団体**が**方針を定住自立圏形成方針**を策定済み
 - 長野県飯田市が**定住自立圏共生ビジョン**を策定済み
- ※斜体字は、複眼型中心市の圏域

| | 都道府県名 | 中心市名 | 周辺市町村名 | 周辺市町村数 | 協定締結（予定）日 | ビジョン策定日 |
|----|-------------|-------------|---|--------|------------------|-----------------|
| 1 | 長野県 | 飯田市 | 松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村 | 13 | 平成21年 7月14日 | 平成21年 12月24日 |
| 2 | 青森県 | 八戸市 | おいらせ町、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村 | 7 | 平成21年 9月24日 | |
| 3 | 秋田県 | 由利本荘市 | (※合併1市圏域) | — | 平成21年 9月25日 | |
| 4 | 埼玉県 | 秩父市 | 横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町 | 4 | 平成21年 9月25日 | |
| 5 | 山口県 | 下関市 | (※合併1市圏域) | — | 平成21年 9月29日 | |
| 6 | 滋賀県 | 彦根市 | 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町 | 4 | 平成21年 10月4日 | |
| 7 | 福島県 | 南相馬市 | 飯舘村 | 1 | 平成21年 10月6日 | |
| 8 | 宮崎県 | 都城市 | 三股町（宮崎県）、曾於市、志布志市（鹿児島県） | 3 | 平成21年 10月6日 | |
| 9 | 鹿児島県 | 鹿屋市 | 垂水市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町 | 7 | 平成21年 10月6～7日 | |
| 10 | 鳥取県 ・島根県 | 米子市 ・松江市 | 境港市（鳥取県）、安来市、東出雲町（島根県） | 3 | 平成21年 10月7日 | |
| 11 | 岐阜県 | 美濃加茂市 | 坂祝町 | 1 | 平成21年 10月26日 | |
| 12 | 大分県 | 中津市 | 宇佐市、豊後高田市（大分県）、豊前市、築上町、上毛町（福岡県） | 5 | 平成21年 11月2日 | |
| 13 | 秋田県 | 大館市 | (※合併1市圏域) | — | 平成21年 12月17日 | |

定住自立圏の形成状況（2）

H22.2.11時点

- 定住自立圏の形成状況 **23圏域（延べ107団体）** ※周辺市町村の重複含む
 - 長野県飯田市等**中心市21団体**が**周辺市町村82団体**と**定住自立圏形成協定**を締結済み
 - 秋田県由利本荘市等**4団体**が**方針を定住自立圏形成方針**を策定済み
 - 長野県飯田市が**定住自立圏共生ビジョン**を策定済み
- ※斜体字は、複眼型中心市の圏域

| | 都道府県名 | 中心市名 | 周辺市町村名 | 周辺市町村数 | 協定締結（予定）日 | ビジョン策定日 |
|----|-------|--------------|------------------------------------|--------|-----------------|---------|
| 14 | 宮崎県 | 日向市 | 門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村 | 4 | 平成21年 12月18日 | |
| 15 | 新潟県 | 長岡市 | 小千谷市、見附市、出雲崎町 | 3 | 平成21年 12月21日 | |
| 16 | 愛知県 | 西尾市 | 一色町、吉良町、幡豆町 | 3 | 平成21年 12月24日 | |
| 17 | 岡山県 | 備前市 | 赤穂市、上郡町（兵庫県） | 2 | 平成21年 12月25日 | |
| 18 | 福岡県 | 八女市 | 黒木町、立花町、矢部村、星野村 | 4 | 平成21年 12月25日 | |
| 19 | 鹿児島県 | 薩摩川内市 | （※合併1市圏域） | — | 平成21年 12月25日 | |
| 20 | 宮崎県 | 延岡市 | 日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町 | 8 | 平成22年 1月7日 | |
| 21 | 香川県 | 高松市 | 土庄町、小豆島、三木町、直島町、綾川町 | 5 | 平成22年 1月14日 | |
| 22 | 佐賀県 | 伊万里市 | 有田町 | 1 | 平成22年 1月18日 | |
| 23 | 高知県 | 四万十市・ 宿毛市 | 土佐清水市、大月町、黒潮町、三原村 | 4 | 平成22年 1月19日 | |
| | | | | | | |
| | 合計 | 25 | | 82 | | |

定住自立圏における取組例

○政策分野別の取組状況

定住自立圏23圏域（平成22年2月11日時点）における主な取組例と圏域数

市町村間の役割分担による生活機能の強化

医療
23圏域
医師派遣、適正受診の啓発、休日夜間診療所の運営等

福祉
12圏域
介護、高齢者福祉、子育て、障がい者等の支援

教育
16圏域
図書館ネットワーク構築、文化・スポーツ交流、公共施設相互利用等

産業振興
21圏域
広域観光ルートの設定、農産物のブランド化、企業誘致等

環境
8圏域
低炭素社会形成促進、バイオマスの利活用等

市町村間の結びつきやネットワークの強化

地域公共交通
20圏域
地域公共交通のネットワーク化、バス路線の維持等

ICTインフラ整備・利活用
15圏域
メール配信による圏域情報の共有等

交通インフラ整備
12圏域
生活道路の整備等

地産地消
10圏域
学校給食への地元特産物の活用、直売所の整備等

交流移住
16圏域
共同空き家バンク、圏域内イベント情報の共有と参加促進等

圏域マネジメント能力の強化

合同研修・人事交流
17圏域
合同研修の開催や職員の人事交流等

外部専門家の招へい
11圏域
医療、観光、ICT等の専門家を活用

取組内容及び役割分担の具体例

※ 各圏域とも、周辺市町村ごとに協定の内容は異なるが、代表的な内容を記載。

※ 各項目とも、具体的な事業内容は、今後中心市が策定する「定住自立圏共生ビジョン」に記載される。

① 地域医療

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|-------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|
| 八戸市 | 自治体病院間における医師派遣体制構築、ドクターカー導入 | 市立病院の医師派遣、ドクターカー導入経費及び維持管理経費の負担 | 医師派遣経費の負担、ドクターカー維持管理経費の負担 |
| 由利本荘市 (合併一市圏域) | 旧本荘市の総合病院と旧7町の間 に受診用受付システムを構築 | 総合病院等と協議し、受診用 受付システム全体の構築 | 受診用受付システム機器の設置、 地域住民へのPR |
| 飯田市 | 圏域内の産科医連携(セミオープンシステム(妊娠期間に応じた役割分担)、共通カルテ運用) | 市立病院機能充実、セミオープンシステム等の住民への普及啓発 | セミオープンシステム等の住民への普及啓発 |
| 延岡市 (圏域重複型) | 県立病院と地域医療機関との機能分担による地域医療連携体制構築、地域医療資源の確保・充実 | 住民に対する適正受診の普及啓発・医療情報の提供、医師確保に向けた取組 | 住民に対する適正受診の普及啓発・医療情報の提供、医師確保に向けた取組 |
| 中津市 (県境型) | 市立病院内に休日夜間の小児救急医療施設を設置 | 小児救急医療施設の整備費用の負担、運営費用の受益に応じた負担 | 小児救急医療施設の運営費用の受益に応じた負担 |

② 福祉

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|------|---|---------------------------------------|--------------|
| 彦根市 | 圏域の保育所・子育て支援センターの連携、子育て従事職員の資質向上、ボランティア育成、ネットワーク化 | 圏域の子育て支援ネットワーク組織の立ち上げ、研修やネットワーク化の企画運営 | 中心市の企画運営に参画 |

③ 教育

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|------------------------|----------------------------------|---|---|
| 松江市 米子市 (県境・複眼型) | 体育・文化施設の市外料金非設定、 <u>図書館の相互利用</u> | 総合運動公園や美術館等について市外料金区分の非設定、 <u>圏域内住民への図書貸し出し</u> | 運動公園、体育館等について市外料金区分の非設定、 <u>圏域内住民への図書貸し出し</u> |

④ 産業振興

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|----------------------|--|---|--|
| 四万十市 宿毛市 (複眼型) | 周遊ルート作成等により、 <u>圏域での滞在型・体験型観光推進、観光協議会の機能強化(法人化等)</u> | <u>観光協議会の機能強化支援、中心市内の観光資源の磨き上げ、受入団体の質の向上</u> | <u>周辺市町村内の観光資源の磨き上げ、受入団体の質の向上</u> |
| 美濃加茂市 | <u>農商工連携による地元農産物を活用した地域ブランド開発、流通販路の強化</u> | <u>圏域全体の地域ブランド認定基準明確化、地域ブランド開発支援、流通販路強化支援</u> | 地域ブランド開発及び特産物PR |
| 日向市 (圏域重複型) | <u>企業立地の推進</u> | <u>周辺市町村と協力した企業誘致、誘致企業への周辺市町村住民の雇用促進</u> | <u>中心市と協力した企業誘致活動、中心市に対する雇用促進のための情報提供等</u> |

⑤ 環境

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|------|---|---|------------------------|
| 南相馬市 | <u>上流(周辺市町村に所在)の森林の多面的機能(水源涵養、土砂災害防止、CO2吸収等)の充実推進</u> | <u>周辺市町村が実施する森林環境や水質の保全に対する必要な支援の実施</u> | 水源地域の植林、間伐、下刈り等森林環境の保全 |

⑥ 地域公共交通

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|-------------------|---|---|--------------------------------|
| 長岡市 | 圏域内の公共交通ネットワークの維持 | 基幹バス路線維持、基幹路線以外は維持できない場合代替交通を確保、必要な費用負担 | 中心市と連携し、路線維持又は代替交通確保、必要な費用負担 |
| 鹿屋市 (圏域重複型) | 圏域住民の鹿児島市への交通利便性の向上、圏域内のバスネットワーク構築 | 鹿児島市への直行バス運行、周辺市町村へのバス接続調整、中心市の待合施設機能充実 | 鹿児島市への直行バス利用促進、バス接続調整、必要な経費負担 |
| 薩摩川内市 (合併一市圏域) | 周辺地域のコミュニティバスについてデマンド交通導入、周辺地域と中心地域間の循環バス運行 | 周辺地域と中心地域を結ぶ循環バスの運行 | デマンド交通の実証運行、観光バス機能を付加した効率的バス運行 |

⑦ ICTインフラ整備、利活用

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|------------------|---|--|-------------------------------|
| 備前市 (県境型) | 圏域内の地域情報をインターネットを介して容易に発信及び入手できる地域コミュニティサイト構築 | 周辺市町村と連携して地域コミュニティサイトの構築・運営 | 地域コミュニティサイト検討会議の主催、研究、共同構築、運営 |
| 八女市 (2月1日に合併) | ブロードバンド整備等地域情報通信基盤整備 | 中心市と周辺市町村の公共施設間のブロードバンドを整備し、防災等の情報通信環境整備 | 中心市と連携した公共施設間のブロードバンド整備 |

⑧ 交通インフラ整備

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|-----------------|-------------------------|--|---|
| 下関市 (合併一市圏域) | 幹線道路の整備充実、農畜産物の輸送体系の効率化 | 周辺地域からのアクセス確保のための幹線道路整備、農畜産物生産団地や農業近代化施設等を連結する道路整備 | 幹線道路までのアクセス整備、流通経路網の整備にあわせた多品目・高品質農産物生産、観光農園等への人の流れ創出 |

9 地産地消

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 大館市 (合併一市 圏域) | 学校給食等への地元食材の積極的導入など、地産地消の拡大 | 農産物直売所と連携し、地元食材を学校給食へ供給する体制を維持・拡充 | JAと連携し、地元食材を学校給食へ供給する体制を維持・拡充 |

10 交流移住

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|------|---|---------------------------|---------------|
| 秩父市 | 交流移住のための需要調査、子ども農山漁村プロジェクト、空き家バンク等関連事業の実施 | 圏域の交流関連事業の企画立案及び需要調査、事業実施 | 中心市の企画立案等への協力 |

11 圏域マネジメント能力強化

| 中心市名 | 取組内容 | 中心市(地域)の役割 | 周辺市町村(地域)の役割 |
|-----------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------|
| 西尾市 | 職員の資質向上、政策課題対応力向上のための合同研修、人事交流 | 職員研修について周辺市町村職員への参加機会設定、周辺市町村との人事交流 | 職員の資質向上に向けた中心市への提案、中心市の研修活用 |
| 高松市 | 定住自立圏における取組事項の効率的実施のため、圏域内の大学等との研究交流を実施 | 大学等と連携した取組事項の調査研究、研究成果の周辺市町村との共有、活用 | 中心市の調査研究への協力、研究成果の活用 |
| 伊万里市 | 医療や観光分野などの業務における専門的知識の修得のため、圏域外からの人材の確保 | 専門性が高い業務でアドバイザーなどの人材を確保するための関係機関等との調整 | 中心市の調整への協力 |
| 都城市 (県境・圏域 重複型) | NPO等地域活動団体の活性化のための人材育成、団体活動支援、(新たな公共活動支援) | NPO等の中間支援体制整備、圏域内のNPO等の連携推進、NPO等の活動支援 | 中心市の体制整備に協力、周辺市町村内のNPO等に係る情報提供 |

様々な圏域の形態

県境を超えて形成された定住自立圏（県境型）

県境型

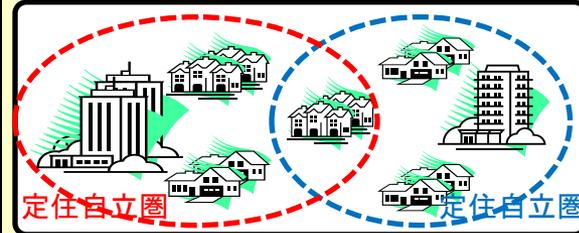


住民の生活実態を踏まえ、**県境の市町村間で圏域を形成**

※いずれの圏域も県境を超えて地域住民の移動（通勤通学等）が存在

| 中心市名 | 定住自立圏エリア | 県境での取組例 |
|---------|-----------|----------------|
| 米子市・松江市 | 鳥取県・島根県境 | 中海（県境の湖）の水質保全 |
| 備前市 | 岡山県・兵庫県境 | 広域観光ルートの設定 |
| 中津市 | 大分県・福岡県境 | 県境コミュニティバス路線新設 |
| 都城市 | 宮崎県・鹿児島県境 | 休日診療、夜間救急体制維持 |

他の圏域と重複する定住自立圏（圏域重複型）



ある市町村が複数の圏域を形成
（複数の中心市と連携する周辺市町村）

| 中心市名 | 周辺市町村 |
|------|---|
| 都城市 | 三股町、曾於市、 志布志市 |
| 鹿屋市 | 垂水市、 志布志市 、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町 |



大規模な市の圏域が他の圏域を包含して圏域を形成

| 中心市名 | 周辺市町村 |
|------------|--|
| 延岡市 | 日向市 、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町 |
| 日向市 | 門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村 |

広域的な合併を行った合併市の定住自立圏（合併一市型）

合併1市圏域型



広域的な合併を行った合併市で人口最大の旧市の昼夜間人口比率が1以上のものは、**合併1市で定住自立圏を形成**

（人口最大の旧市を中心地域、他の旧市町村を周辺地域とした「定住自立圏形成方針」を策定）

大館市、由利本荘市、下関市、薩摩川内市

2つの市を中心市とする定住自立圏（複眼型）

複眼型

定住自立圏



2つの市が共同して中心市となり、圏域を形成

| 中心市名 |
|----------|
| 米子市・松江市 |
| 四万十市・宿毛市 |

定住自立圏等民間投資促進交付金

100億円

1. 概要

定住自立圏等において、「あと一步」で実現が期待される民間の取組を支援し、圏域全体の暮らしに必要な都市機能等を確保するため、都道府県が民間投資に係る初期費用の助成を行う場合に、その実施に要する経費（10/10。都道府県の判断により、上乘せ補助することは可能）を交付（見直しの結果、特に緊急性の高い医療に関連する事業に限定）。

都道府県は、関係市町村の意見を踏まえて、圏域ごとの民間支援策を取りまとめた「**定住自立圏等民間投資促進プログラム**」を作成。

2. 対象地域と交付限度額

- ・**対象地域**：中心市及び定住自立圏の形成が見込まれる市町村
〔定住自立圏、定住自立圏形成予定圏域、定住自立圏形成に向けた取組を推進中の圏域（道府県が特に推進すべきと考える圏域を含む。）〕
- ・**交付限度額**：圏域における民間投資の総額 × **20%**

3. 対象事業

- ・**対象事業**：医療関連の施設又は設備の整備で、都道府県が圏域において必要とされる機能の確保等に資すると認めるものに対する助成。

（例）

- ・ 病院、診療所の新增改築
- ・ 医療機器、電子カルテの整備
- ・ ヘリポートの整備
- ・ バス車両、船舶（通院環境の向上に資するものに限る。）
- ・ 看護学校の校舎（定員増を伴うものに限る。）

等

定住自立圏構想推進事業

平成21年度予算額：67,381千円 平成22年度政府予算案：66,716千円

事業概要

「定住自立圏構想」を推進するため、協定を締結又は方針を策定した定住自立圏における医療、交通及び産業振興の個別テーマの取組事例について、調査・分析を行うとともに、アドバイザリーボードにおいて、評価・助言を行う。また、セミナーの開催により、本構想についての自治体関係者、住民等の理解を深める。

1. 定住自立圏構想 アドバイザリーボード

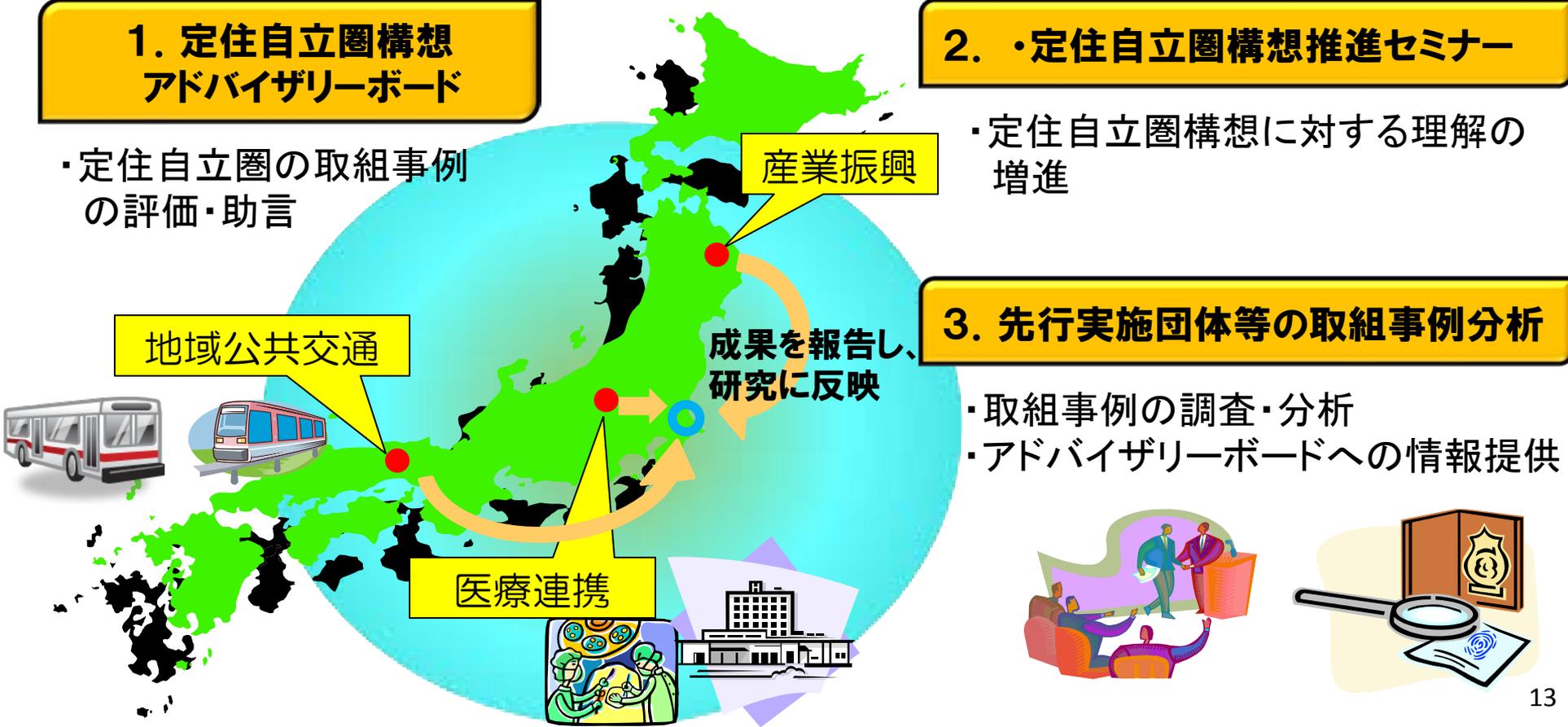
- ・定住自立圏の取組事例の
評価・助言

2. 定住自立圏構想推進セミナー

- ・定住自立圏構想に対する理解の
増進

3. 先行実施団体等の取組事例分析

- ・取組事例の調査・分析
- ・アドバイザリーボードへの情報提供



アドバイザーボード及び取組団体の事例調査について

調査対象圏域：5圏域

- ・秋田県由利本荘市（合併1市圏域）
- ・長野県飯田市（周辺市町村数最多：13町村）
- ・鳥取県米子市・島根県松江市（県境・複眼型中心市）
- ・香川県高松市（宣言中心市中人口最多：418,125人）
- ・宮崎県延岡市（近隣の日向市圏域を包含）

調査経過

- ・11月以降、対象圏域の現地調査（ヒアリング）を実施
- ・地域の喫緊の課題となっており、多くの団体が取組を予定している地域医療、地域公共交通及び産業振興の分野における各圏域の取組状況の調査結果を整理中

アドバイザー

- 多くの団体の参考となる以下の2分野について学識経験者にアドバイスを依頼
- ・地域医療分野 梶井 英治 自治医科大学地域医療学センター長
 - ・地域公共交通分野 寺田 一薫 東京海洋大学海洋工学部教授

今後の予定

- ・アドバイザーによる現地調査及び取組事例に対する評価・助言（アドバイザーボードの開催含む）
- ・調査報告書を全国の中心市に情報提供

定住自立圏構想推進シンポジウム及びセミナーの日程

| 名称 | 日時 | 場所 | 内容 |
|-----------------------|-----------------------------------|--------------------------------|---|
| 定住自立圏構想推進シンポジウムin札幌 | 平成21年 12月18日(金) 13:30~16:30 | ホテルポールスター札幌 会場:「セレナーデ」 | <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演(梶井英治 自治医科大学地域医療学センター長) ・取組事例報告(小樽市長) ・パネルディスカッション(小樽市長、釧路市長、飯田市副市長、梶井センター長) |
| 定住自立圏構想推進セミナーin金沢 | 平成22年 1月27日(水) 13:30~16:30 | 石川県庁 会場:行政庁舎 1102会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ・総務省説明 ・取組事例報告(富山県高岡市、石川県七尾市、福井県福井市、滋賀県彦根市) ・質疑応答 |
| 定住自立圏構想推進セミナーin仙台 | 平成22年 1月29日(金) 13:30~16:30 | ホテルメトロポリタン仙台 会場:「曙」 | <ul style="list-style-type: none"> ・総務省説明 ・取組事例報告(宮城県石巻市、宮城県大崎市、秋田県由利本荘市、山形県山形市、山形県鶴岡市、福島県南相馬市) 質疑応答 |
| 定住自立圏構想推進シンポジウムin熊本 | 平成22年 2月5日(金) 13:30~16:30 | 熊本テルサ 会場:「たい樹」 | <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演(辻琢也 一橋大学大学院教授) ・取組事例報告(大分県中津市) ・パネルディスカッション(福岡県大牟田市、熊本県山鹿市、宮崎県日向市、中津市) |
| 定住自立圏構想推進セミナーin名古屋 | 平成22年 2月19日(金) 13:30~16:30 | 愛知県自治研修所 (アイリス愛知) 会場:大教室 | <ul style="list-style-type: none"> ・総務省説明 ・取組事例報告(岐阜県美濃加茂市、愛知県西尾市、三重県いなべ市) ・質疑応答 |
| 定住自立圏構想推進セミナーinさいたま | 平成22年 3月23日(火) 13:30~16:30 | ホテルブリランテ武蔵野 会場:エメラルドAB | <ul style="list-style-type: none"> ・総務省説明 ・取組事例報告(調整中) ・質疑応答 |
| 定住自立圏構想推進セミナーin彦根(予定) | 平成22年 3月26日(金) 13:30~16:30 | ひこね市文化プラザ 会場:メッセホール | <ul style="list-style-type: none"> ・総務省説明 ・取組事例報告(調整中) ・質疑応答 |

定住自立圏構想推進シンポジウムについて（１）

定住自立圏構想推進シンポジウムin札幌

平成21年12月18日（金）13:30～16:30

【プログラム】

- 1 開会・挨拶
- 2 基調講演 「地域医療の充実に向けて」
講師：梶井英治 自治医科大学地域医療学センター長
- 3 取組事例報告 山田 勝麿 小樽市長
- 4 パネルディスカッション 「定住自立圏構想の推進に向けて」

パネリスト：

| | |
|------|------------------|
| 梶井英治 | 自治医科大学地域医療学センター長 |
| 山田勝麿 | 小樽市長 |
| 蝦名大也 | 釧路市長 |
| 丸山達也 | 長野県飯田市副市長 |

コーディネーター：

池谷 忍 共同通信社経営企画室幹事



基調講演



パネルディスカッション

シンポジウム概要

- ・ 基調講演では、梶井センター長から地域医療の確保・充実等の方向性を御講演いただき、住民参加などに加え、地域の枠組みの再構築として定住自立圏構想の内容を御紹介いただいた。
- ・ 小樽市長から現在の小樽市の定住自立圏の取組状況について御報告いただいた。
- ・ 釧路市長及び飯田市副市長も加えたパネルディスカッションでは、市町村の枠を超えて連携することの大切さ、首長のリーダーシップの重要性、住民を挙げた議論の必要性などが話題になった。

定住自立圏構想推進シンポジウムについて（２）

定住自立圏構想推進シンポジウムin熊本

平成22年2月5日（金） 13:30～16:30

【プログラム】

- 1 開会・挨拶
- 2 基調講演 「定住自立圏構想について」
講師：辻 琢也 一橋大学大学院教授
- 3 取組事例報告 新貝 正勝 中津市長
- 4 パネルディスカッション 「定住自立圏構想の推進に向けて」 基調講演

パネリスト：

辻 琢也 一橋大学大学院教授

新貝 正勝 中津市長

古賀 道雄 大牟田市長

中嶋 憲正 山鹿市長

黒木 健二 日向市長

コーディネーター：

池谷 忍 共同通信社経営企画室幹事



パネルディスカッション

シンポジウム概要

- ・基調講演では、辻教授から地方圏が超高齢社会を迎えるに当たって、民間主導・総合性・地方主導という特徴を持つ地域振興策としての定住自立圏構想の意義について御説明いただいた。
- ・中津市長から現在の中津市の定住自立圏の取組状況について御報告いただいた。
- ・大牟田市長、山鹿市長、日向市長も加えたパネルディスカッションでは、県境型、合併1市圏域、圏域重複型などそれぞれの多様な圏域形成の進め方などが話題になった。